

環境学習 みえ



2007

冬号 (通巻31号)

テーマ

街の省エネ探検隊！

さくらげ
桜家のこどもたちは、

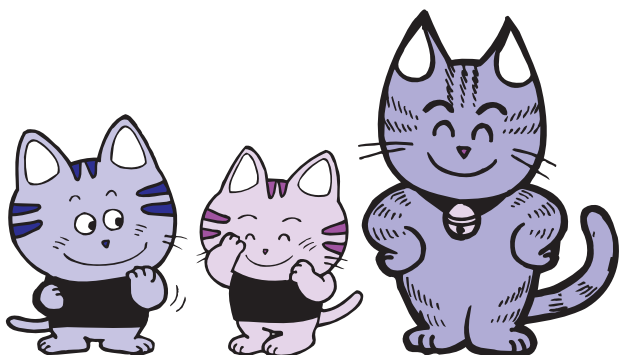
「こどもエコクラブ」^{※P6参照}に入って、いつも省エネをがんばっています。
部屋を出るときは照明のスイッチをすぐに消したり、
テレビゲームをする時間を決めておいたり。

そんなこどもたちにお父さんが言いました。

「今日は街の省エネを探しにいってみよう」

「街の省エネ？ 街も省エネしてるの？」

さてさて、こどもたちはどんな省エネを見つけるのでしょうか？
一緒に出かけてみましょう！



特集

街の省エネ探検隊！

がんばっています！！こどもエコクラブ

環境学習情報センターニュース

- ・こどもエコクラブ県内交流会in鈴鹿
- ・今月の企画展示
- ・講座のご案内 ほか

2007年12月発行 発行/三重県環境学習情報センター
四日市市桜町3690-1



街にでかけてみよう

パークアンドライド

都市部や、観光地などの、交通渋滞^{じゅうたい}を少なくするために、自動車を郊外の鉄道駅や、バス停などに設けた駐車場にとめて、乗りかえて目的地に行く方法です。通行車両が少なくなって、交通渋滞だけでなく、排気ガスによる大気汚染も少なくなるという効果も期待できます。三重県では、通勤に利用されている「スーパーの駐車場に自動車をとめてバスに乗りかえる方式」や、初もうでのときに、「伊勢神宮から少しはなれたところに駐車場を用意して、シャトルバスで往復する方式」のパークアンドバスライドがあります。

山陽新幹線でも、「新幹線パーク&ライド」サービスを行っています。そのほかにも同じようなサービスがあります。

パークアンドライドは、みんなの力で大きな効果が生まれるんだね。

アイドリングストップ

アイドリングストップとは、自動車の駐停車中に、エンジンを切ることです。三重県内を走っている路線バスでも、自動的にアイドリングストップになる種類のバスが走っています。運転者だけでなく、駐車場の面積が500㎡以上または駐車台数が40台以上の駐車場の管理者も、利用者へアイドリングストップを知らせることにしています。

アイドリングストップは、かんたんにできるんだ。みんな、自動車の排気ガスを減らさなきゃ。

風力発電・太陽光発電

太陽光発電や風力発電などは、今まで利用していなかった自然の力を利用しています。これを新エネルギーや自然エネルギーと呼んでいます。太陽光発電は、太陽光のエネルギーを利用して発電しています。目を閉じて、太陽の光のほうへ顔を向けるとエネルギーを感じることができます。自然の力を利用すると発電時には、CO₂（二酸化炭素）が排出されないのがクリーンエネルギーとも呼ばれています。太陽熱を利用してお湯をわかしたりもしています。効率よく生活に取り入れられるといいですね！

電車は止まると発電所？

自転車で強くブレーキをかけたあとは、ブレーキが熱くなっています。

昔の電車も同じように、ブレーキをかけるとたくさんの熱を出していました。

今の電車は、止まるときにモーターを「発電機」として使うことによって、電気をおこしています。

ここで生まれた電気は、電線を通して、ほかの電車が使うことができます。

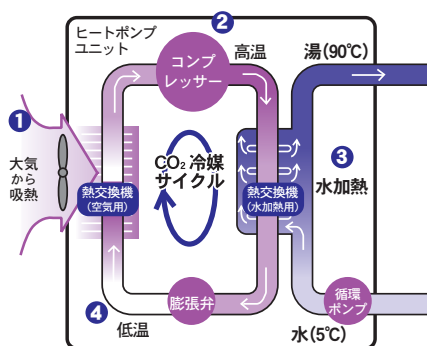
これからのくらしを考えてみよう

空気を使って湯沸かし

■エコキュート 鈴鹿市の西田さんに聞いてみました。

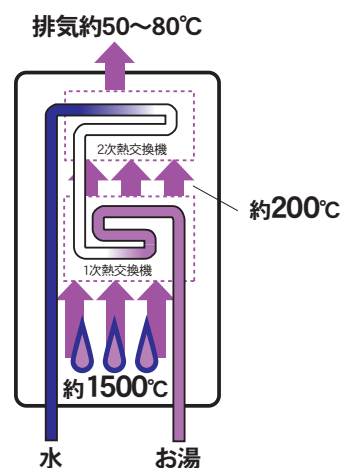
エコキュートって、知ってますか？空気を圧縮して得られる熱を利用してお湯を沸かす新しい給湯器です。

テレビCMがきっかけで、3年前の自宅の建てかえ時に、思い切って導入しました。実際に使えば便利で、ガスの給湯器より省エネでお得です。地球温暖化防止にもつながりますよ。



■エコジョーズ

ガス給湯器をよく調べるとエコジョーズというのがありました。室外のバーナーから熱い空気が出ています。これはお湯を沸かした後の空気で、約 200℃です。この熱を捨ててはもったいないので、200℃の熱を再利用して、バーナーに入ってくる水道水を温めるのに使えば、空気の温度は80℃まで下がって、その分だけ水がお湯に変化してしまいます。今まで捨てていた熱を、もう一度使えばガスの節約ができます。

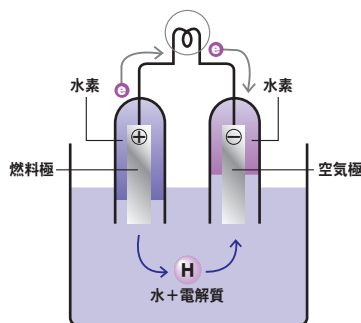
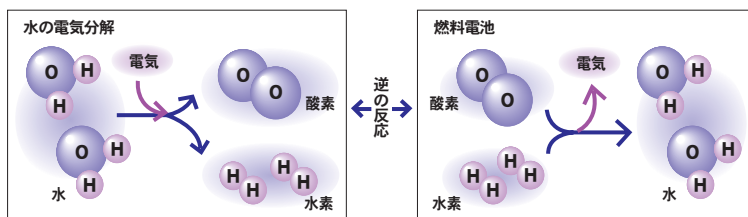


燃料電池

電池というより「発電装置」と考えたほうが分かりやすいですね。化学反応で電気を起こします。騒音や振動がほとんど発生せず、有害ガスも出ません。不思議なことに水しか出てこないのです。

未来には、火力発電所に代わる新しい発電所とか、工場やビルのエネルギーとしても使えます。

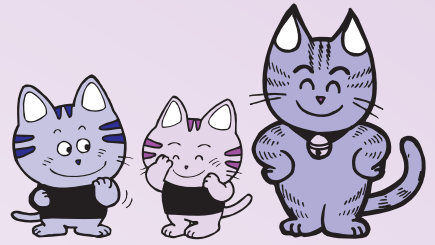
ほかに身近には、パソコン、携帯電話にも応用できて、発電所が手のひらサイズになるかもね。



化学反応を利用するんだね。

水素と酸素の反応を利用してむだなく電気が作れるんだ。

いろんなところで使えるのね。



新しいライフスタイル

■エコライフ 環境学習推進員の辻本さんに聞きました。

毎日、考えもって暮らしているよ！ 水を汚さないようにしよーとか、無駄にしないようにしよーとか。それからね、ごみを出さないように、買物のときからごみを一緒に買ってこないように気をつけているよ。近くは歩いていくとかね。電気の事ももちろん考えているよ。用がすんだら消す、早寝早起きを心がけて、電気をつけている時間を減らすとかね。一つずつ、少しずつ考えながら、環境を良くするために出来ることを増やしていこうと思っていますよ！



さあ、チャレンジ！

地球に優しいことを知ろう

技術を学んで、意識を持って暮そう

CO₂を出さないエネルギーを使おう

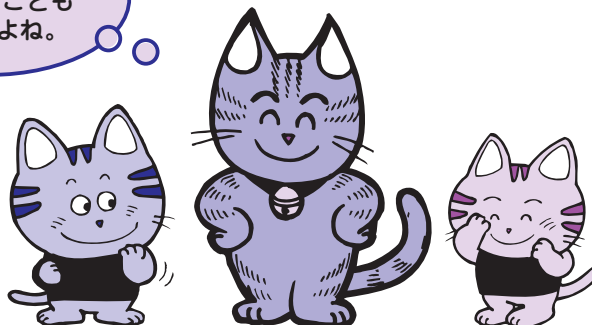
家庭でも話題にしてみよう

行動を起こそう

うん、でも1人1人ががんばることも大事だね。

おとうさん、今日は街ががんばってることがよくわかったね。

これからの技術も楽しみだね。





がんばっています!

こどもエコクラブ



～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

ドンカラエコクラブ (志摩市)

会員数32人 サポーター数18人

会員は小学1年生から、6年生、サポーターは20代から60代で構成されています。自治体の募集でつくったクラブです。

代表サポーターの
仲井裕子さんにインタビューしました。

☆ いつどのようにできたのですか？

もともと『ドンカラ放課後こども教室』というのがあって、週1回、絵手紙をつくるなどの活動をしていました。そのたびごとにこどもを募っていたので、「年間を通して、なんかモノがつかれへんかな」と考えていたんです。ちょうどそこへ、畑を貸してくれる方があらわれ、今年の6月から月に1回、活動を始めました。

☆ どのような活動をしていますか？

1年間使っていなかった15㎡の畑を耕しました。まず、草刈り。それから、うねをつくり、腐葉土をいれ、枝豆とさつまいもを植えました。草取りなどをへての枝豆は、おいしかったようで、こどもたちは皮まで食べそうな勢いでした(笑)。

最高に楽しいイベントだったのは、芋ほりです。親が虫に驚いて、「きゃー」と叫ぶと、こどもがパーンとはらいのける。たくましいものです。

今日は、農家の方からいただいたもみぐらをたき火にいれ、焼き芋大会をしているところです。火のまわりで、いたずらをしたこどもが、「火遊びしたら、アカン」と60代のサポーターにしかられているかと思うと、こっちは20代のサポーターと笑いあうという具合です。

☆ どのようなことを子どもたちに伝えたいですか？

この地域の豊かさです。山から腐葉土を運んだり、もみぐらをくださったり、たき火の場所をお借りしたり、この活動は、地域の人の協力があってこそのもので。

家でひとりでゲームをするより、地域のなかで、いろいろな人と積極的にかかわりながら、こどもが育っていけばいいな、と。環境の活動は、こうした地域をつくっていく道具だと思っています。志摩の磯部太鼓が「ドンカラ」と響くように、こどもたちと大人がいいリズムを奏でていければと思います。



こどもエコクラブの1年間の活動を壁新聞にまとめよう！ ～全国フェスティバルを目指そう！～

応募してくれた壁新聞は全部、来年3月29、30日に行われる「こどもエコクラブ全国フェスティバルin北九州」の会場で展示されるよ。そして、壁新聞をみたこどもエコクラブの仲間からメッセージが届くんだ。三重県選抜クラブになると、全国フェスティバルに招待されるよ！



昨年度の三重県選抜クラブ
員弁中学校3年選択理科

壁新聞の作り方、提出の仕方については

「こどもエコクラブニュース秋号」や

ホームページ<http://www.eco.pref.mie.jp/forum/ecoclub/index.htm>をみてね。

詳細は環境学習情報センターホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>

環境学習情報センター ニュース

こどもエコクラブ県内交流会in鈴鹿を開催しました。

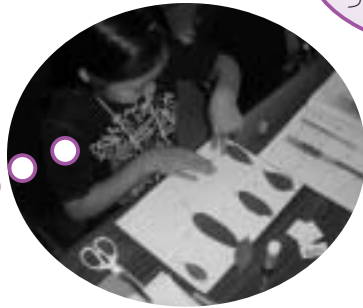
午前中は、3クラブがステージで活動発表をしました。また自分たちの活動をまとめたポスターや壁新聞を展示し、それを見てメッセージを書きました。メッセージを各クラブに届けたり、会員同士でインタビューをしたりして交流が深められました。午後は5班（きのこ、植物、昆虫、クモ、かたつむり）に分かれて自然観察を行い、今まであまり興味がなかった生き物にも親しみを感じて、新しい発見の多い一日となったようです。



こどもエコクラブの仲間にインタビュー。みんなどんなことを考えているのかな？



ポスターを見て書いたメッセージをベルディが持っているポストに入れてね。



自然観察で葉っぱの標本をつくったよ。

日時：2007年10月27日(土) 10:00~15:30
 場所：鈴鹿青少年センター・鈴鹿青少年の森公園
 参加者：6クラブ 77名
 ガールスカウト三重県第9団(桑名市)
 海蔵しぜんクラブ(四日市市)
 イオンチアーズクラブ四日市尾平(四日市市)
 手作り絵本サークル(鈴鹿市)
 イオンチアーズクラブ松阪(松阪市)
 イオンチアーズクラブ明和店(明和町)

今月の企画展示 10月・11月の展示



10月「白塚の浜を愛する会」

「白塚の浜を愛する会」は、津市白塚町で約十数年前から海岸保全の活動を行っています。西口恵子さん(代表)は、白塚海岸のことを誰よりも知るひとりで、地域の皆さんや三重大学などと一緒になってこの浜を守る為に活動をしています。白塚海岸の砂はともコンディションが良く、生態系のバランスが整っており、絶滅が危惧されている生き物が生息することでも知られています。人があまり利用してこなかった結果、貴重な動植物の生態系が残ったのです。



11月「生活協同組合コープみえ」

コープみえでは「コープみえエコファミリー」という企画で、地球温暖化防止に向けて取り組んでいます。展示内容は、環境1%キャンペーン、エコファミリーの資料、夏の環境イベントのパネル、生協の環境商品などでした。また、地球温暖化防止学習会やキャンドルナイトの様子に加え、コアノンロール、洗剤詰め替え用、熱にも強いラップなどの商品の紹介もありました。



グリーンマン

ようこそ三重県環境学習情報センターへ

環境学習情報センターに来館してくれた小学校・中学校・高等学校(9月~11月)



グリーンマン

伊賀市立上野東小学校	4年生	津市芸濃町4校連合小学校	5年生	鈴鹿市立玉垣小学校	4年生	狐野町立竹永小学校	4年生
県立北勢きらら学園		津市立千里ヶ丘小学校	5年生	津市立安東小学校	4年生	津市立片田小学校	4年生
津市立栗真小学校	5年生	津市立黒田小学校	5年生	東員町立笹尾東小学校	4年生	多気町立相可小学校	4年生
津市立北立誠小学校	5年生	松阪市立阿坂小学校	3・4年生	津市立豊津小学校	4年生	桑名市立久米小学校	4年生
名張市立梅が丘小学校	4年生	四日市市立河原田小学校	4年生	桑名市立大成小学校	1年生	鈴鹿市立鈴西小学校	4年生
鈴鹿市立枝島小学校	4年生	鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校	4年生	津市立桃園小学校	5年生		
津市立白塚小学校	4年生	伊勢市立御園小学校	5年生	亀山市立亀山東小学校	4年生		
津市立大里小学校	4年生	四日市市立高花平小学校	5年生	桑名市立七和小学校	5年生		
四日市市立大矢知興譲小学校	4年生	菰野町立千種小学校	4年生	津市立明合小学校	5年生		

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。

講座の種類	講座名	開催日
環境学習指導者養成講座	みえ環境学習セミナースキルアップ講座	ホームページでお知らせします。
	インタープリター研修	
親子環境講座	親子で考える環境講座 エコ・クッキング	1月27日(日) (会場：未定)
	親子で考える環境講座 工場見学	2月3日(日) (会場：シャープ亀山工場)

※詳しくはお問い合わせください。※開催日は予定ですので変更になる場合があります。
 ※抽選の場合は三重県在住または、県内に通勤・通学の方を優先させていただきます。

以下の講座は希望に応じて開催しています。

社会見学等での環境講座のほか、学校の授業や公民館、企業、市民団体の学習会などへの出前講座も実施しています（無料）。講座内容については、ご相談させていただきます。お気軽にご連絡ください。

講座の例	内 容	対 象
水質チェック教室	パックテストで水のCODを調べます。	小学校中学年以上
大気調査教室	簡易測定カプセルで採集した二酸化窒素の量を測定します。	小学校高学年以上
森林教室	森林の役割について考えます。	小学校中学年以上
自然体験教室	自然観察、バードウォッチング、水生生物調査など。	小学校中学年以上
エコ・クッキング	省資源、省エネルギーなどを考えたクッキング	小学校中学年以上
ごみ・リサイクル講座	家庭のできるごみゼロ、3Rの実践。	小学生以上
買い物ゲーム	模擬的な買い物を通じて、ごみを減らす方法を考えます。	小学校中学年以上
環境にやさしい消費者講座	グリーン購入を通じた環境への取組を考えます。	小学校高学年以上
省エネルギー講座	地球温暖化防止と資源枯渇の問題から、省エネルギーの実践を考えます。	一 般

※原則として、希望日の1ヶ月前までに、ご連絡ください。

※出前講座については、使用する消耗品のご準備をお願いしています。

お申し込み・お問い合わせ 三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3690-1 (鈴鹿山麓リサーチパーク内)

TEL/059 (329) 2000 FAX/059 (329) 2909

電子メール eco@pref.mie.jp

ホームページ http://www.eco.pref.mie.jp/

開館時間 午前9時～午後5時30分

開館日 年末年始(12/29～1/3)以外は無休。

土曜日、日曜日、祝日もオープン

入館料 無料

近鉄四日市駅から三重交通バス
 (桜リサーチパーク行き)で35分
 近鉄菟野駅から車で10分
 東名阪四日市I.C.
 鈴鹿I.C.から車で15分

